| 学校番号 | ２０５ |
|---|---|

# 令和８年度　体育科

| 教科 | 保健体育 | 科目 | 体育（柔道） | 単位数 | １単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新高等学校保健体育（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付けている。 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。 | 運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとしている。健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しもうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 柔道 | 受け身の習得<br>寝技の基礎<br>立ち技の基礎 | ・自己の能力に応じて技能を高め，相手の動きに対応した攻防ができるようにする。互いに協力するとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，安全に練習ができるようにするとともに，計画的な練習や試合の工夫ができるようにする。<br>a:素手で相手と組み合う格闘形式の運動の特性を理解し，「礼」についても正しい知識をもつことができる。また，受身や，投げ技，押さえ込み技の「かかり練習」を通して様々な技を身につけ，崩しから掛けるという一連の動作を身につけることができる。<br>b:攻防などの自己や仲間の課題を発見し，合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し，自己の考えたことを他者に伝えることができる。<br>c:柔道に自主的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保することができる。 | 技能テスト | レポート提出<br>内容<br>技能テスト | 授業に取り組む姿勢<br>レポート提出状況 |
| 2学期 | 柔道 | 寝技の実戦練習<br>立ち技の実戦練習 | ・自己の能力に応じて技能を高め，相手の動きに対応した攻防ができるようにする。互いに協力するとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，安全に練習ができるようにするとともに，計画的な練習や試合の工夫ができるようにする。<br>a:素手で相手と組み合う格闘形式の運動の特性を理解し，「礼」についても正しい知識をもつことができる。また，受身や，投げ技，押さえ込み技の「かかり練習」を通して様々な技を身につけ，崩しから掛けるという一連の動作を身につけることができる。<br>b:攻防などの自己や仲間の課題を発見し，合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し，自己の考えたことを他者に伝えることができる。<br>c:柔道に自主的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を大切にしようとす | 技能テスト | レポート提出<br>内容<br>技能テスト | 授業に取り組む姿勢<br>レポート提出状況 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保することができる。 | | | |
| 3学期 | 柔道 | 実戦練習<br>（乱取り稽古） | ・自己の能力に応じて技能を高め，相手の動きに対応した攻防ができるようにする。互いに協力するとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また，安全に練習ができるようにするとともに，計画的な練習や試合の工夫ができるようにする。<br>a:素手で相手と組み合う格闘形式の運動の特性を理解し，「礼」についても正しい知識をもつことができる。また，受身や，投げ技，押さえ込み技の「かかり練習」を通して様々な技を身につけ，崩しから掛けるという一連の動作を身につけることができる。<br>b:攻防などの自己や仲間の課題を発見し，合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し，自己の考えたことを他者に伝えることができる。<br>c:柔道に自主的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保することができる。 | 技能観察 | レポート提出内容<br>技能観察 | 授業に取り組む姿勢<br>レポート提出状況 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度